

# 小施策評価シート (平成 28 年度実績評価)

施策コード	12	施策名	芸術文化活動の振興		
小施策コード	12-1	小施策名	芸術・文化活動の充実		
小施策 主管課等コード	046800	小施策 主管課等名	文化国際室		
評価責任者名	赤坂 國彦		内線番号	2110	
評価シート作成者名	小原 幹男		内線番号	2156	

## Step 1 施策目標の達成状況

まちづくり指標	目指す 方向	単位	25年度 実績 (当初値)	27年度 実績	28年度 実績	31年度 目標値	36年度 目標値
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合	↑	%	41.6	40.3	40.9	45.0	50.0

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標, ↓：数値を下げていくことを目標とする指標, →：数値を維持することを目標とする指標)

## Step 2 小施策の全体像

### 小施策の概要等 (構成事業は別紙ロジックモデルシートのとおり)

対象 (誰 (何) を対象として行うのか)	意図 (対象をどのようにしたいのか)
市民, 芸術・文化に関わる人・団体	芸術・文化活動に参加できる。
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民の価値観が多様化していることから, コンサートや演劇, 美術展などの芸術鑑賞事業や各種講座など, 芸術文化に親しむ機会を提供する事業については, 市民ニーズの把握に努めるとともに, それぞれの文化会館の特色を生かしながら, 魅力ある事業展開を図る必要がある。</li> <li>芸術文化活動の振興を図るため, 活動発表の機会を設けているほか, 優れた公演や事業などに対して共催や後援を行い支援しているが, 市民の自主的な活動を促進するため, 更に効果的な支援, 育成に取り組む必要がある。</li> </ul>
取組の方向性	優れた芸術を鑑賞する機会を提供するとともに, 市民自らが表現する場や芸術団体が相互に交流する場の創設と芸術文化団体の活動を支援する。

### Step 3 小施策指標の推移

小施策の指標	目指す方向	単位	25年度実績 (当初値)	27年度実績	28年度実績	31年度目標値	36年度目標値
芸術文化事業鑑賞者数	↑	人	28,372	35,749	21,861	29,500	31,000
文化会館活動参加者数	↑	人	10,741	8,764	11,273	10,900	11,800
盛岡芸術祭参加者数	↑	人	11,453	10,661	12,080	11,500	12,000

(↑：数値を上げていくことを目標とする指標，↓：数値を下げていくことを目標とする指標，→：数値を維持することを目標とする指標)

### Step 4 市民ニーズの把握

盛岡市まちづくり評価アンケート結果によると「この1年間に何らかの芸術文化活動に参加した」と答えた市民の割合は40.9%となっている。

### Step 5 役割分担分析

#### 1 各主体の役割の状況

		役割の内容	役割分担比率 (%)
各主体の 役割の状況	市	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞機会を提供する。</li> <li>芸術文化活動の振興と情報を提供する。</li> </ul>	50
	国・県・ 他自治体	<ul style="list-style-type: none"> <li>芸術鑑賞機会を提供する。</li> <li>芸術文化活動の振興と情報を提供する。</li> </ul>	10
	市民・ NPO	芸術を鑑賞する。芸術文化活動に参加する。	30
	企業・ その他	企業メセナとして芸術文化を支援する。	10

## 2 今後の市の役割の比重の方向性とその理由

- 市の役割の比重を拡大していくことを検討する
- 現状維持（現在の市の役割の比重を維持する）
- 市の役割の比重を縮小していくことを検討する

（理由）

市民の自主的な芸術活動の促進と芸術鑑賞機会と情報提供の充実を図ることとしているほか、盛岡市における文化芸術振興施策に関する基本的な方向性を定める必要があるため、現状維持とするもの。

## Step 6 前年度に分析した課題・改革改善案に対するアクション

### 1 平成28年度に分析した問題点・課題に対する改革改善案

- ・ 文化会館の指定管理者と連携し、魅力ある芸術鑑賞機会の提供に努める。
- ・ 芸術文化活動に係る人材育成や計画的な施設の修繕と維持管理を進めるため、盛岡市における文化芸術振興施策に関する基本的な方向性を定める。
- ・ 盛岡芸術協会や芸術文化団体の自主的な芸術活動への支援策を検討する。

### 2 1の改革改善案の実施状況

（A：着手済，B：平成29年度に着手（予定含む），C：未着手または見送り）

改革改善案	具体的な取組（予定）内容	状況
文化会館の指定管理者と連携した魅力ある芸術鑑賞機会の提供	指定管理者と連携し、芸術鑑賞事業及び芸術活動事業を実施した。	A
文化芸術振興施策に関する基本的な方向性の策定	芸術文化施策推進指針策定に向け、関係団体等と意見交換を行った。	A
盛岡芸術協会や芸術文化団体の自主的な芸術活動への支援策検討	従前からある後援・共催による支援は行ったものの、新たな支援策は未実施である。	C

### 3 2で挙げた取組状況がCの場合、その原因

財源確保ができず、芸術活動への助成制度創設ができなかった。

## Step 7 成果・問題点の把握

### 1 成果の把握と要因分析及び課題の設定

#### (1) 小施策の中で成果をあげた点

文化会館活動参加者数が増加した。

#### (2) 成果をあげた要因

多彩な文化会館活動メニューの展開による参加者の増加。

#### (3) さらなる成果向上に向けた課題（課題がある場合に記載）

## 2 問題点の把握と原因分析及び課題の設定

### (1) 小施策における現状の問題点

芸術文化事業鑑賞者数が減少した。

### (2) 現状の問題点が生じている原因

前年は人気作家による展示会で参加者が伸びたが、同様の展示会がなかったため減少。

### (3) 分析した原因の解決に向けた課題

多くの市民が興味を持つような著名、人気作家等の展示会の開催を検討する必要がある。

## Step 8 小施策と構成事業の関係性

### 1 小施策との結び付きが弱い、もしくは他の事業と重複していると考えられる事業

該当事業なし。

### 2 1で記載した事業についてその理由

### 3 1で記載した事業の今後の方向性（案）（縮小・廃止・統廃合等）

## Step 9 Step 7, 8を踏まえた改革改善案

- ・ 市民ニーズを捉えた鑑賞事業企画の展開が必要である。
- ・ 盛岡芸術協会や芸術文化団体の自主的な芸術活動への支援策を引き続き検討する。